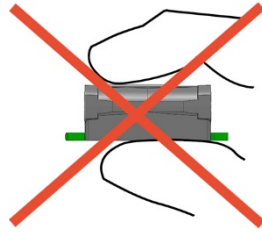
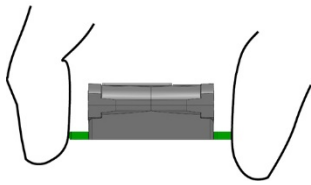


取扱いマニュアル

センスエア Sunrise

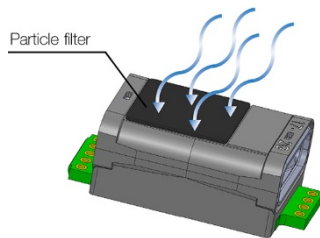
NDIR方式CO₂センサモジュール



注意:
当製品はESD(静電気放電)の影響を受ける製品です。
ESD保護対策をとって下さい。



注意:
素手でセンサに触れないで下さい。
塵や油分、その他の汚れを避けるため、清潔な手袋を使用して下さい。



注意:
適切な空気の流れと、環境の変化に対するセンサの速いレスポンス時間を確保するため粒子フィルタを塞がないで下さい。



注意:
OBAには接着や成形は行わないで下さい。

取付け・はんだ付け

一般的なはんだ付けの規格・基準に従ってはんだ付けを行って下さい。

スポットはんだ装置: はんだ付け温度295℃、3秒間

手はんだ: はんだ付け温度380℃、2秒間

※はんだ付けはPCBの、OBA実装の反対側から行って下さい。

機械的特性

外径寸法、許容値の詳細については、外形図をご参照下さい。

レイアウト上の配慮

基板の熱膨張によるセンサへのストレスを低減するため、メイン基板に切り込み、スリットなどを施して下さい。

保存

センサはESD保護バッグに入れて保存して下さい。

保存温度: -40℃~+70℃

保存環境の条件: 通常のIAQ(屋内空気質)環境、腐食性のある環境は不可。

検査・検証

センサの輸送、取扱い、組立てはセンサの校正に影響を与える場合があります。センサの精度は、通常のIAQアプリケーションにおいて、ABC機能(自動ベースライン補正)がON、連続測定で3回のABC期間の後の定義です。

アプリケーションにより、センサのカスタム化のオプションが検討可能です。センスエア社またはその代理店にご照会下さい。可能な限り、センサの輸送後はセンサのチェック、ゼロ校正を行って下さい。